

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.3

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43874



三

大臣

次郎

三郎

三郎

三郎

米倉長助 米倉長平

五月十四日 山田次郎 在米倉長平使合後に因す件



日時 辰年五月十四日 午後二時半 四時三十分 於米倉長平

出席者 山田次郎 米倉長平 山田長平 山田長次 山田長三

山田長三 山田長四 山田長五 山田長六

由 山田長平は修文ハリスノ行状書に於て山田長平は山田長平

と云ふ事ありと言ふ事あり 前田長平は山田長平の周すべし

と云ふ事あり 山田長平は山田長平の周すべし

と云ふ事あり 山田長平は山田長平の周すべし

米倉

外務省

回覧番号 米保 153

由 山田長平は修文ハリスノ行状書に

米倉 修文ハリスノ行状書に於て山田長平は山田長平

と云ふ事ありと言ふ事あり 前田長平は山田長平の周すべし

と云ふ事あり 山田長平は山田長平の周すべし

と云ふ事あり 山田長平は山田長平の周すべし

と云ふ事あり 山田長平は山田長平の周すべし

山田 山田長平は山田長平の周すべし

外務省

この二つの事柄は内閣が承認する(日本の安全に付、日本と
米國の利益を同列に置くこと、固執) 高橋(白木剛)の語意の
利益(と云ふ)は、^{日本}以外の事、其の邊を在る事、御意の如く、
つとよに御意の如く。

冷石 万石は削除の持構とあり

二更 万石は削除の持構とあり、又復得る()

冷石 万石は削除の持構とあり、又復得る()

外務省

万石は削除の持構とあり

二更 万石は削除の持構とあり、又復得る()

冷石 万石は削除の持構とあり、又復得る()

二更 万石は削除の持構とあり、又復得る()

冷石 万石は削除の持構とあり、又復得る()

二更 万石は削除の持構とあり、又復得る()

冷石 万石は削除の持構とあり、又復得る()

外務省

國の... 法律は...

二重 厚事又は *limitation* は...

法律は... 行政官の...

この... 行政官は...

ない... *limitation*...

... *in accordance with*...

... *in accordance with*...

外務省

in accordance with は... 行政官は...

(...)

... 行政官は...

... 行政官は...

... 行政官は...

... 行政官は...

外務省

才五五及才九五は同様に同し

才五五は意はさへさうす子心重なるを以て

才五五 施設下に在り日本地味は河川と云ふ箇向を議令に示す

才五五から原案に示す

條五五 金賦と云ふは一人の歩みと申す事ならずか 控筆士

因執せず

才五五 原案條五五 控筆士

才五五は同様に同し

才五五は日本地味と云ふは河川と云ふ箇向を議令に示す

才五五 才五五は意はさへさうす子心重なるを以て

才五五 施設下に在り日本地味は河川と云ふ箇向を議令に示す

才五五から原案に示す

才五五 原案條五五 控筆士

才五五は意はさへさうす子心重なるを以て

持てた事はない、

才たを何に勝たぬか as may be speed more と附かす事し。

冷石 竟ふ事し。

古使 重控問付りしは、漸く固事は何處の上なるか。金部手とあると

から清洲大寺也。又は重控問付る強一之と云ふは、
是等の

為上正解を後とすは、
可也

冷石 強理と相違すとすは、
可也

外務省

古使 金部手とある一語は、
可也

冷石 尤も、
可也

是れは、
可也

右の事、
可也

別紙ニは、
可也

又、
可也

止あり、
可也

外務省

古史 卷之四 河内 子孫軍師 二十二年 周 河内 摺

道加加家

等老地 此子孫 河内 摺 子孫軍師 二十二年 周 河内 摺

梅令の ありか ありか ありか ありか

外務省

BY
DJ
KTR

Confidential

PROPOSALS

1. Preamble, fifth paragraph.

Delete "Considering that they have a common interest in the security of Japan,".

2. Preamble, sixth paragraph.

Delete "and in the Pacific area".

3. Article III

Delete "individual and collective".

4. Article III

Insert "within the constitutional limitations" after "maintain and develop".

5. Article IV

Delete "and the Pacific area".

6. Article V

"in the territories of Japan under its administration",
instead of "in the territory under the administration of Japan".

- 2 -

7. Article V

"its constitutional provisions and processes" instead of
"its constitutional processes and constitutional provisions".

8. Article VI

"For the purpose of contributing to the security of Japan"
instead of "In consideration of the common interest that
the two Parties have in the security of Japan".

9. Article VI

Delete "and in the Pacific area".

10. Article VI

Delete "and about".

11. Article VI

"replacing the Administrative Agreement under Article III
of the Security Treaty between Japan and the United States
of America, signed at Tokyo on February 28, 1952, as
amended, and by ^{such} other arrangements." instead of "replacing
the Administrative Agreement between the United States and
Japan signed on February 28, 1952, and by such other
arrangements; as the Governments of the United States and
Japan may agree upon."

as ~~may~~ be agreed upon.
may be

BY
RE
—

CONFIDENTIAL

"The deployment into Japan of United States armed forces other than the entry of such forces by way of routine movements, the introduction of nuclear weapons into Japan, and the use of facilities and areas in Japan as bases for military combat operations to be directly launched to areas outside Japan shall be the subjects of prior consultation with the Government of Japan."